

さいたま市長メッセージ（令和2年9月10日）

皆さん、こんにちは、さいたま市長の清水勇人です。

先日、新型コロナウイルスに感染し入院されていた、市内に住む60代の男性がお亡くなりになりました。また、九州地方では、台風10号の被害によりお亡くなりになられた方がいらっしゃいます。

ご冥福をお祈りするとともに、ご遺族には心からお悔やみ申し上げます。9月に入り、これから台風が発生し、本市へ接近する可能性が高まる季節となります。昨年の台風19号では、本市も多くの被害を受け、避難所に多数の方が避難されました。

台風が接近している際は、情報収集に努めていただき、躊躇せずに速やかに避難するよう心掛けてください。

避難所は、多くの避難者が集まることで、いわゆる3密状態となり、新型コロナウイルス感染症等の感染拡大リスクが高まります。

安全が確保できる場合は、ご自宅や親戚・知人宅への避難をあらかじめ検討していただくなど、感染リスクを避けるための行動をお願いいたします。

本市では、9月8日までの1週間で1,316件の検査を実施し、25名の新規陽性者が判明しました。9月1日までの1週間の44名に比べ、新規の陽性者は減少傾向にあり、陽性率も2.8%から1.8%に下がっております。

また、年代別では、重症化リスクが高い60歳以上の新規陽性者はいませんでした。感染経路別では、家庭内や勤務先、会食での感染割合が多くなっています。日常のあらゆる場面で基本的な感染症対策を徹底し、家庭にウイルスを持ち込まないように注意しましょう。

社会経済活動を行なながら、感染拡大をある程度抑えられたことは、市民や事業者の皆様の感染症対策へのご協力のおかげであり、改めて感謝いたし

ます。引き続き、ひつづき かんせんしょうたいさく てってい しゃかいけいざいかつどう いじ あたら
感染症対策を徹底しながら社会経済活動を維持していく「新
しい生活様式」の実践をお願いいたします。